

次女が生後6ヶ月のころ、風邪のような症状(微熱・咳・鼻水)があり、3日続き、母乳もミルクもあまり飲まなかつた。小児科を受診し服薬を続けていたが、全く母乳もミルクも受け付けなくなりおう吐も重なるり丸一日が経つたので再度小児科を受診。「風邪の菌がお腹にきたのでしよう」と、吐き止めを処方された。ちょっと待つ!! 母乳もミルクも飲まないのよ———! 薬なんて飲めるはずないやん!!

結局夫の帰りを待つて救急車を呼ぶことにしました。症状から腸梗塞の可能性ありと診断され、即手術でした。夜間の当直医でしたが素早い処置・対応で開腹せずにすみました。そして「朝まで待ついたら腸が壊死してしまってたところですよ。お母さんよく救急車を呼んで連れきましたね。お子さんのSOSサインをよく感じ取りましたね。きっとママありがとうって喜んでますよ」

3ヵ月後には全身アツアツ、かいたにゆるにゆる、血も出ておばけのようになり、道ゆく知らない人にまで病院を勧められたがそれでも私はまだ自然に治るはずと毎日泣きながら信じた。よくなるはずもないく、小さいわが子に「なんでかくねん！かきなや！」と怒る私を見かねて、病院へ行こうと主人に言わられ皮膚科へ。

ところが皮膚科でもお手上げで、大きい病院を紹介してもらいそのまま入院。石けんをしつかり泡立てたつぶりの泡で洗い、しつかりすぎ、保湿クリームとステロイドをたっぷり塗ることを続けて、5日で何ともきれいなお肌になり退院。



■ 生後6か月のとき、顔に赤いブツブツができはじめた。私はステロイドを使いたくなかったのでなるべくかかせないようにして自然に治るのを待った。





て いる（うめぼし女）



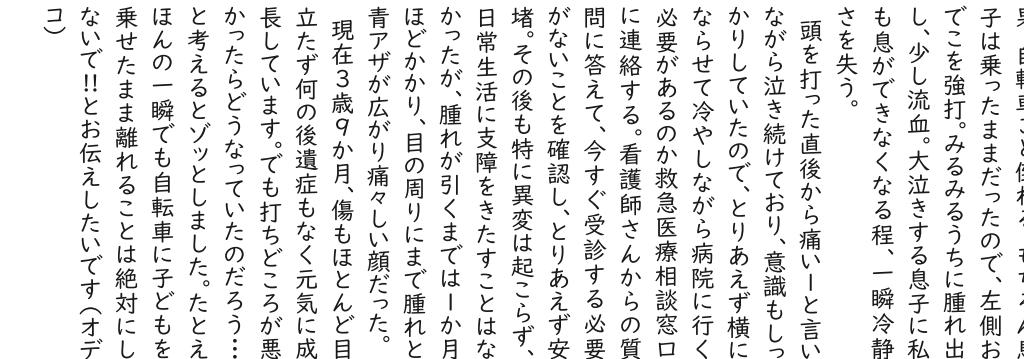
4歳くらいまではうまくステロイドと一緒に生活しながら、洗剤や化粧品などの物も変え、強い身体をつくることに力を注いだ。

おかげさまで7歳の今では、ほぼステロイドなしで元気に育つてくれている(うめぼし女)

■ 3歳児検診の視力検査はパステルのものの、テレビを見るとき眉間にしわを寄せたり、お迎え時なかなか私のことを見つけられなかつたりずつと気になっていたので4歳になつた時に眼科を受診しました。視力の発達がゆっくりとのことで定期的に受診しながら検査にも慣れました。一年後、急に視力があがり問題なくなりました。気になってた時、まわりから「大丈夫ちやう。見えるで。」などといわれたりしてたけど、受診して安心できたので思い切って受診へよかつたと思いました(にやんた)

■4歳のGW明けから風邪をひき、昼夜問わずずっと咳が止まらず、食も細くなり心配になり近所の小児科に毎週通いましたが解決しませんでした。何件か病院を回りましたところ副鼻腔炎になつていたことが発覚。

そこから2か月に一度くらいのペースで総合病院に通いました。少しずつ咳もよくなり食欲も出てきたと思ったと思っていたタイミングで、また風邪をひいて副鼻腔炎が悪化というのを何回も繰り返し完治までは一年かかりました(エミー)



次の日に久しぶりに公園に行つたところ、今度は滑り台の一番高い場所から転落。大泣きし、そのまま急いで家に帰る途中に、昼寝もろくにしない娘が寝てしまったため、これはよくないかもと思いつ、小児外科がやつていい時間だったの総合病院に連絡し受け入れてもらえることに。車の中でも元気がまるでなく、どうなるのだろうと心配していくが、病院で待っている間にいつも元気を取り戻してくれた。吐くこともなかつたので、レントゲンやCTなどはなく、細かく診てもらつたが問題はないとなつた。



■娘が2歳のころ兄7歳と私の二人で入浴していた時、湯船にいた私が「妹が何か変」といったので洗つていた顔をあげると、気を失った妹がお湯の中に沈む寸前でした。兄に電話と叫び、気道確保して、足の事刺激をしまくって意識が戻りました。必死すぎてその後いつ服を着たのかなどまったく覚えていませんが、娘はその後、いつも通りけろんとしていました。念のため近隣の小田急病院を受診しました。兄が気付いてくれてなかつたら、どうなつてたのかどう考えたら生きた心地がしません（あやぱん）



翌朝も同じ状態だったため、近所のかかりつけの病院に連絡しましたが、レントゲンがないため、誤飲の小児科へ行くことになり受診するも、何と喉が炎症を起こし気管支炎になっていて、腫れすぎていてご飯も飲み込めなかつたのですといふことでした。レントゲンも撮つてもらいましたが、小さいものはレントゲンに写らない可能性も高く、雪池など危険なものでない限り、もし誤飲していても、喉を通つたものはほんちで出てくるので大丈夫だと言われました。ちょうど風邪をひいていたのですが、そんなに喉がひどい状態になつては気が付かず…。いろいろとびっくりと反省の出来事でした(みゆうみゆう)

2歳の息子を子ども乗せ自転車の前部座席に座らせたまま、一瞬自転車から離れた瞬間(時間にして5秒ほど、距離にして30cmくらい)、息子が暴れて壁を蹴った結果、自伝車が倒れる。もちろん息子

2歳の娘、泣きながら兄を追いかけていたところ、家の階段から転がり落ちる。尋常じやない泣き方と目の横が擦れてアザと血が滲んでいたため、小児外科へ。レントゲンも撮ったが、頭に異常はなし。目の横は擦り傷だから痕も残らないと言われひと安心。

病院では、前の日は階段から落ちたことに連絡しないといけなくなるか、気をつけて」と言われ、まさかの虐待を疑われる展開と2日続けて瘦め、ついで落込んだ。さすがに次の日はひどいもつておとなしくさせてましだったところ、「お母さんを見れば違和感があるけど、これが続くと役立つ」と言わせてしまつた。

